

【資料 2 - 1】

(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン素案 市民意見募集の実施結果 (概要) について

(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョンの策定にあたり、ビジョン素案について市民意見募集を実施し、以下の結果となりました。

1 実施概要

(1) 募集期間 2020年12月15日(火)～2021年1月15日(金)

(2) 資料の閲覧及び配布

ビジョン素案については、町田市ホームページに掲載したほか、各市民センター、駅前連絡所、図書館等で閲覧していただくとともに、各施設で素案の概要を配布しました。

2 寄せられた意見の件数・内訳

(1) 件数 90者から155件のご意見を頂きました。

(2) 内訳

ご意見の内容	件数
1 計画全体に関するご意見	9件
2 取り組みの方向性に関するご意見	88件
(1)「サービス・利便性」をチェンジに関するご意見	24件
(2)「ソフト・魅力」をチェンジに関するご意見	15件
(3)「地域・コミュニティ」への支援をチェンジに関するご意見	15件
(4)「コスト・民間協働」をチェンジに関するご意見	34件
3 スケジュールに関するご意見	0件
4 ビジョンの推進に関するご意見	4件
5 その他のご意見	54件
(1) 市政に関するご意見	20件
(2) 施設の再編(集約・廃止・維持)に関するご意見	12件
(3) 使用料に関するご意見	2件
(4) 利用に関するご意見	1件
(5) 設備に関する要望	10件
(6) その他のご意見	9件
合計	155件

ご意見の主な内容は以下の通りです。

分類	ご意見の概要	
全体に関するご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センターの今とこれからについて、はっきりとした方針が示されていて納得できた。 ・アンケート結果や現状の利用状況など資料から読み取れることは要望も含めどれも理解できる。幅広い世代の住民参加型の議論の場を今後も数多く設け、市民センターの未来について意見交換を繰り返すことが良い。 ・市施設の老朽化が進んでいる状態の中、少子高齢化が進んでいる。今なんとかしないとチャンスを失ってしまうのではないか。財政がひっ迫している中大変だとは思いますが、決断する時である。 ・市民センターの縮小廃止を前提としている計画に他ならず、少子高齢化に対してむしろ必要なのは市民センターの拡充であり、お年寄りが使いやすい利便性の追求であるべき。市政は地域住民への奉仕が基本であり、利益を追求する民間への委託には反対する。 	
取り組みの方向性に関するご意見	<p>(1) 「サービス・利便性」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政手続きについて、証明書発行に特化した窓口機能の縮小は受け入れられる。 ・行政のデジタル化が必要と思うが、マイナンバーカードの普及拡大において個人情報の流出がないよう市民が信頼できる事業を立ち上げてほしい。 ・誰もが使いやすい行政サービスの実現を目指すことについて、デジタル化に上手く対応できない人への対応が必要。 ・相談窓口への転換は、デジタル化の促進が前提になっており、すぐに切り替えられるものではないと思うが、限られた職員には機械でもできる手続きではなく、相談者に寄り添うコーディネーター的役割を期待したい。
	<p>(2) 「ソフト・魅力」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に活動できる場所として市民センターなどでのイベントがあるとよい。そこから交流が生まれるのではないか。 ・軽い飲食が出来るスペースがあると若い人の活用等が増えるのではないか。 ・民間団体などと連携して、高齢者、親子をターゲットにした企画ができれば、足を運んでもらえるきっかけになる。
	<p>(3) 「地域・コミュニティ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設やセンター等の使い易さ、交通の便、駅からのアクセスの簡単さ、又は駐車場等の配慮が望まれる。 ・もっと気軽に使える、地域に根差した交流の場が必要である。地域住民が使いやすい環境や仕組みを計画することについて検討してほしい。

	<p>(4) 「コスト・民間協働」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校等の空き部屋も利用できるとよい。 ・各施設の老朽化は市民にとっても気掛りである。人件費削減することを考えると、市民が自立して施設等利用出来るように考えていかなければならない。 ・指定管理者や民間事業者への委託等を行うことにより、イベントの入場料や参加料の徴収が常態化することが懸念される。公益性をいかに確保していくかが課題になる。 ・学校施設が、子どもたちの教育の場であることは論を待たないが、他方で社会から切り離された教育は有りえない。共働き家庭が増える中で、放課後の子供たちの安全や安心の確保、高齢者も含めた地域住民の多様な交流が今後ますます必要とされる。こうしたニーズを取り入れた複合化・多機能化施設は、地域の活性化と新しいコミュニティづくりに欠かすことができない。 ・学校は子供達の学びの施設であり静かな環境を提供すべきと考える。学校施設の利用は反対。 ・利用料が安いから利用できる・民営化はたとえ魅力があっても儲けにつながるもので利用料が高くなるので反対。高いお金を払い夢のようなものを作られても利用できる人は限られるので反対。
	<p>ビジョンの推進に関するご意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「推進委員会」の検討期間の途中でも、その間を縫って地域住民の声が反映されているかどうかを市民が検証できるよう、絶えず努力を積み重ねていただきたい。 ・市民センター等を、いつでも誰でも気軽に立ち寄り楽しく過ごせる場所とすることを目標にしており、是非このような施設にしてほしい。各種相談に応じる場所にしたいという目標もあり、各種行事やイベント等の実施を含め、それらを総合的にコーディネートする人や団体を配置することも今後の検討に入れてほしい。
<p>その他のご意見</p>	<p>施設の再編</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンターについては、利用率や利用形態から再配置(集約化)の検討を進めて良い。再配置の検討にあたっては、市民部の所管する施設だけではなく、一般開放可能な会議室等を併設している施設を所管する部署を含め、町田市全体を見て再配置を検討すべき。 高齢者福祉計画や介護保険事業計画では、地域活動への参力日促進と生きがいづくりのため、通いの場をつくることを推奨しており、コミュニティセンターが現状で「通いの場」となっていることから、総量の極端な圧縮は避けていただきたい。

